

R7 年 1 月 15 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：デイサービスなごみ

施設種類：地域密着型通所介護

会議開催日時：R7 年 1 月 15 日

開催場所：あゆみ整骨院

出席者：

(人 数)

利用者	1 人	知見を有する者等	1 人
利用者家族	人	地域包括支援センター職員	人
地域住民の代表	人	益田市職員	1 人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1 人

【議題】

・従業員について

管理者 1 名（兼務）

生活相談員 1 名

介護職員 2 名（兼務含む）

看護職員 3 名

機能訓練指導員 3 名（兼務含む）

運転手 3 名

・要介護度別利用者数

事業対象者 6 名、要支援 1 26 名、要支援 2 30 名

要介護 1 24 名、要介護 2 17 名、要介護 3 7 名、要介護 4 3 名

合計 113 名（R6 年 12 月実績）

- R6.10 より介護と支援に分けて営業

10 月以前までは要介護の方と要支援の方と一緒にサービスを提供

10 月よりそれぞれ分けて営業することにした。

要支援のサービス時間を 2 時間に変更して空く時間を極力減らして運動を主に行って通いやすさを追及、レッドコードの導入

要介護の方の個別時間を長めに設定してその方の目標に向かった運動を提供

歩くと良い効果がたくさんあるので歩くことに重きをおき、毎回フロアを歩く取り組み開始
小さいお子さんがいる若い職員が多く、シフト管理が難しくなっており、利用者さんへ今後
先も安定したサービスの提供をしていくことを目的として土曜営業を辞め、祝日についても
要介護の営業のみ

※今後

要支援は日常生活動作訓練強化でより生活しやすくなるように

要介護は介護度の維持、自宅での生活継続が更にできるように

- 事故、ヒヤリハットの報告

代表的なヒヤリハット

立ち上がり、歩き出し

乗降時に多い

物にひっかける

- イベント

お出かけ、草木染、リース作り

- 意見

支援と介護と分けることで仲間外れにされたように感じる人もいるのではないか

→実際に一人卒業されたが、区別しているわけではなく今後のことを考えてのことなのでご理解いただきたい。

認定調査で人によって差が激しいのはなぜか

→同じ基準でやっているが、既往歴や医者意見書によっても左右される